

# 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市, 伊勢原市, 平塚市におけるタゲリ

## 一斉調査(2017, 2018 年度)について

樋口公平<sup>1)</sup> 平田稔<sup>2)</sup>

### はじめに

タゲリ *Vanellus vanellus* (Linnaeus, 1758) は、チドリ科の冬鳥で、神奈川県レッドデータ生物調査報告書(2006)では絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。また茅ヶ崎版レッドデータリスト改訂版(2017)では絶滅危惧種に位置づけられている。また2015年にIUCN(国際自然保護連盟)のレッドデータリストで健在種から準絶滅危惧種に指定され、国際的にも生息の危機が迫っているとされた。

タゲリは春から夏の繁殖期には中国東北部やシベリアなどの湿原で繁殖活動をしている。このような場所での野鳥の繁殖は一般的に地球温暖化により植生の変化や湿原の開発などが繁殖に大きく影響を及ぼしているといわれている。また、冬に日本の暖地に渡ってくるが、湘南地区は越冬地となっている。県や市のレッドデータとなっているのは越冬地の水田の減少やその環境が悪化していることが原因の一因と考えられる。

タゲリの好む越冬地の環境は、平地の見晴らしのよい水田などで、特に湿田が好まれている。

餌は、水田の土の中のミミズや昆虫類などを主として、他にドジョウやトウキョウダルマガエルなどの記録もある。

これらの越冬地環境である県内の水田は、都市化の影響により著しく減少している。茅ヶ崎市も例外ではなく、作付面積は平成元年 113ha、平成 27 年には 38ha になり(2015 年世界農林業センサス 神奈川県)、27 年間で 33%に減少した。

県内のタゲリは、10 数年前までは横浜市や三浦市にも飛来していたが、水田の減少と共にすでに飛来が途絶えており、今回の調査地である茅ヶ崎市、藤沢市、寒川町の湘南地域の越冬地は、東京以西においては東京に最も近い越冬地となっている。

タゲリー斉調査会では減少し続けているタゲリの越冬状況を把握し、保護していくためのデータ収集を目的として、2000 年から毎年茅ヶ崎市、寒川町、藤沢市(以下相模川以東地区)でタゲリの越冬個体数や移動ルートの調査を続けてきた。2011 年度から三翠会が主催を引き継ぎ 2017, 2018 年も調査を継続実施した。

また、2016 年に引き続き平塚市、伊勢原市(以下相模川以西地区)を調査エリアとして加えた。

以下にその結果を報告する。

### ※「タゲリー斉調査」の構成メンバー

三翠会、茅ヶ崎野外自然史博物館、日本野鳥の会神奈川支部、神奈川県自然観察指導員連絡会、さむかわエコネット、地域の市民などの有志

### 1. 調査日時

①2017 年 12 月 10 日 10:00~12:00

②2018 年 12 月 09 日 10:00~12:00

調査日は例年通り 12 月の中旬とした。

### 2. 調査地点

①2017 年

合計 10 か所の調査地点を下記のように設置した。

・茅ヶ崎市(1 か所)

西久保大町西側・北側(調査本部)

・寒川町(3 か所)

一之宮西・八丁目、一之宮東・大曲三丁目、田端・大曲四丁目

・藤沢市(3 か所)

宮原大昭橋北側、宮原大昭橋南側、宮原寒川広域リサイクルセンター北

・平塚市(2 か所)

北豊田・小鍋島、岡崎・金目

・伊勢原市(1 か所)

上平間・下谷

②2018 年

合計 11 か所の調査地点を下記のように設置した。

- ・茅ヶ崎市(1 か所)  
西久保大町西側・北側(調査本部)
- ・寒川町(3 か所)  
一之宮西・八丁目, 一之宮東・大曲三丁目, 田端・大曲四丁目
- ・藤沢市(4 か所)  
宮原大昭橋北側, 宮原大昭橋南側, 宮原寒川広域リサイクルセンター北, 宮山旭橋北方向
- ・平塚市(2 か所)  
北豊田・小鍋島, 岡崎・金目
- ・伊勢原市(1 か所)  
伊勢原市上平間・下谷

これらの定点は茅ヶ崎市、藤沢市、寒川町、更に2016年に引き続き平塚市、伊勢原市を加えて過去にタゲリの飛来の情報があつた場所や、飛来の可能性のある場所、当季に確認情報のあるところを選んだ。また、地形としては見晴らしのよい水田地帯を選んでいる。

#### 1)調査を取り止めた地点

過去に調査した大庭(藤沢市), 打戻(藤沢市)・芹沢新道橋付近, 芹沢農地改良碑付近, 下寺尾西方・一ツ橋, 下寺尾北方・寺尾橋・岡田(寒川町)と、赤羽根(茅ヶ崎市)の合計6調査地点は、調査を取り止めた。これは過去数年間タゲリ飛来情報が無いことや調査員減のため、可能性の高い地点に振り替えたためである。

#### 2)巡回調査地点の継続設置

調査員減であることから2012年より一之宮西・八丁目、一之宮東・大曲三丁目、田端・大曲四丁目を、巡回調査地点とし、引き続き効率的に調査できるようにした。

更に2016年に引き続き平塚市、伊勢原市を巡回調査地点に加えた。ここは過去に1人程度で参考調査をしていたが、安定的に多い群れが越冬しているため調査地点として加えた。

### 3. 調査方法

以下のとおり従来と同様の方法を取った。

#### 1)定刻一斉調査

10:00, 10:30, 11:00, 11:30, 12:00に、各調査地点

で一斉にタゲリの個体数を数える。

#### 2)移動ルート調査

各調査地点でタゲリの飛来、飛去、通過を確認した場合その時刻、移動方向、羽数を随時本部に携帯電話で連絡し、本部はその移動先と思われる調査地点に連絡する。このことにより、タゲリの移動ルートを掴む。

各調査地点には、タゲリの識別能力の高いリーダーを含む1〜3人を配置した。

観察には双眼鏡、望遠鏡を使用した。

#### 3)巡回調査

広い定点を少人数で調査する方法として、定点のエリアを満遍なく車で巡回探索する方法。タゲリを発見した場合はその場に張り付き定刻一斉調査にする。

### 4. 調査参加者

#### ①2017年

- 【西久保大町西側・北側(調査本部)】鈴木國臣
- 【一之宮西・八丁目】滝田紘一, 斉藤光男
- 【一之宮東・大曲三丁目】(滝田紘一, 斉藤光男)
- 【田端・大曲四丁目】(滝田紘一, 斉藤光男)
- 【宮原大昭橋北側】平岩宏司, 佐藤成美
- 【宮原大昭橋南側】平田稔, 山下一男
- 【宮原寒川広域リサイクルセンター北】石井大輔, 中門吉松
- 【平塚北豊田, 小鍋島】樋口公平, 伊藤洋平
- 【平塚岡崎, 金目】熊澤泰信
- 【伊勢原上平間・下谷】嶋田武夫, 栗田唯

#### ②2018年

- 【西久保大町西側・北側(調査本部)】鈴木國臣
- 【一之宮西・八丁目】滝田紘一, 斉藤光男
- 【一之宮東・大曲三丁目】(滝田紘一, 斉藤光男)
- 【田端・大曲四丁目】(滝田紘一, 斉藤光男)
- 【宮原大昭橋北側】平岩宏司, 山下一男
- 【宮原大昭橋南側】平田稔, 佐藤守
- 【宮原寒川広域リサイクルセンター北】石井大輔, 中門吉松
- 【宮山旭橋北方向】佐藤成美, 小林範夫
- 【平塚北豊田・小鍋島】樋口公平, 柴田多満美

【平塚岡崎・金目】熊澤泰信

【伊勢原上平間・下谷】嶋田武夫

地点名の次に書かれている名前の方が各地点のリ  
ーダー役とした。

## 5. 調査結果(表 1)

### 1) タゲリが確認された調査地点

以下の地点で確認された。

#### ①2017 年

藤沢市：宮原大昭橋南側で 2 羽

平塚市：岡崎・金目で 12 羽

伊勢原市：上平間・下谷で 9 羽

#### ②2018 年

平塚市：北豊田・小鍋島で 10 羽、岡崎・金目で 6 羽

伊勢原市：上平間・下谷で 10 羽

### 2) 定刻一斉調査の結果

#### ①2017 年

定刻一斉調査の結果は表 1 のとおりである。まず  
相模川東側では 2 羽が確認され続け、少なくとも 2 羽  
以上が渡来していることが確認された。また平塚伊  
勢原地区では定刻と巡回調査の結果最大で計 21 羽が  
確認された。

#### ②2018 年

定刻一斉調査の結果は表 1 のとおりである。まず  
相模川東側では、初めて確認されず 0 羽となった。  
また平塚伊勢原地区では 26 羽が確認された。

### 3) 移動ルート調査の結果

#### ①2017 年

当初、藤沢市宮原大昭橋南側調査地点で確認され  
た 2 羽は、歩行を繰り返し採餌していた。またカメ  
ラマンが近づくと歩行しながら移動したが、調査エ  
リア内からは移動することなく調査は終了した。ま  
た平塚伊勢原地区では、調査地点間の移動は確認で  
きなかった。

#### ②2018 年

相模川東側では、タゲリが確認できなかったため  
移動の確認もなし。また、平塚伊勢原地区では、調査  
地点間の確実な移動は確認できなかった。

### 4) 調査エリアに渡来している個体数の推定について

#### ①2017 年

平塚伊勢原地区では移動ルート調査の際に 10 時 13  
分の時点、調査地点 3 か所で同時に確認できている。

表1.時間別確認個体数(タゲリが確認された地点のみ)

| 調査地点              | 調査時間      |           |           |           |           | 定刻以外                             |
|-------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------------------------------|
|                   | 10:00     | 10:30     | 11:00     | 11:30     | 12:00     |                                  |
| <b>2017年</b>      |           |           |           |           |           |                                  |
| 藤沢市宮原・大昭橋南側       | 2         | 2         | 2         | 2         | 2         |                                  |
| <b>相模川東側合計</b>    | <b>2</b>  | <b>2</b>  | <b>2</b>  | <b>2</b>  | <b>2</b>  |                                  |
| 平塚市北豊田・小鍋島        | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 10:03～10:09迄2羽<br>10:12～10:13迄2羽 |
| 平塚市岡崎・金目          | 12        | 0         | 0         | 0         | 0         | 10:13 3羽背後から<br>通過で計15羽          |
| 伊勢原市上平間・下谷        | 9         | 9         | 0         | 0         | 8         | 10:00～10:35迄9羽                   |
| <b>平塚・伊勢原地区合計</b> | <b>21</b> | <b>9</b>  | <b>0</b>  | <b>0</b>  | <b>8</b>  | 10:13に3ヶ所で<br>合計26羽              |
| <b>湘南地区総合計</b>    | <b>23</b> | <b>11</b> | <b>2</b>  | <b>2</b>  | <b>10</b> | <b>総合計28羽</b>                    |
| <b>2018年</b>      |           |           |           |           |           |                                  |
| 藤沢市宮原・大昭橋南側       | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |                                  |
| <b>相模川東側合計</b>    | <b>0</b>  | <b>0</b>  | <b>0</b>  | <b>0</b>  | <b>0</b>  |                                  |
| 平塚市北豊田・小鍋島        | 0         | 10        | 10        | 10        | 1         | 10:02～11:30迄10羽                  |
| 平塚市岡崎・金目          | 6         | 6         | 6         | 6         | 6         | 10:15～12:00迄6羽                   |
| 伊勢原市上平間・下谷        | 10        | 10        | 10        | 10        | 0         | 9:40～11:48迄10羽                   |
| <b>平塚・伊勢原地区合計</b> | <b>16</b> | <b>26</b> | <b>26</b> | <b>26</b> | <b>7</b>  | 10:15～11:30迄26羽                  |
| <b>湘南地区総合計</b>    | <b>16</b> | <b>26</b> | <b>26</b> | <b>26</b> | <b>7</b>  | <b>総合計26羽</b>                    |

北豊田・小鍋島で2羽、岡崎で15羽、沼目・下谷で9羽が同時に確認され合計26羽となった。

その際、藤沢市宮原大昭橋南側では継続して2羽が確認できているため、このことから少なくとも全地点の合計28羽以上が渡来していることが確認された。

## ②2018年

平塚伊勢原地区では定刻の10:30, 11:00, 11:30の時点で調査地点3か所同時に26羽確認されている。藤沢市宮原大昭橋南側では0羽だったため、合計して26羽以上が渡来していることが確認された。

## 6. 考察

### 1)地域別の状況について

藤沢市宮原の目久尻川流域の水田地帯は、2008年の調査で初めて確認され、2017年まで連続して確認されたが、2018年で記録が途絶えた。この水田地帯は面積も広く、エリア内の休耕田や建造物も少ないため見渡しのよいタゲリの好む環境ではあるが、休耕田が植木の畑などに転作され始めていて、生息環境は少しずつ悪化している。ただし大きな変化はない。

一之宮、田端、大曲、萩園、西久保は、一帯となった水田エリアで、過去は中心的な越冬地となっていたが、2008年初めてこの一帯からの記録が途絶えてしまった。2009年の調査では記録が復活したが2009年以降今回まで記録が途絶えている。渡りの時期の初期である10月後半から11月前半ころ、不定期に少数の確認例はある。

相模川以西地区の平塚市、伊勢原市の調査地点は、南側に新幹線、北側には小田原厚木道路があり、開けた広大な水田地帯となっている。過去には車1台の巡回の参考調査をしていたが、20羽前後の群れが確認できていた。2015年から本格的に調査を開始し20羽前後の群れが確認し続けられていて、安定した越冬地となっている。また広大な場所のためさらに多くの人数を掛けて、調査定点を設け、定刻調査が出来ればもう少し確認数が増える可能性もある。ただし、こちらも建物や畑などが虫食い状に

増えてきており、タゲリにとっての環境は少しずつ悪化している。

記録地点について相模川以东地区では2006年, 2007年, 2008年には1か所でしか確認できなくなっていたが2009年には2か所、2010年以降は連続で1か所となった。

### 2)確認羽数の推移について

相模川以东地区について、2000年度65羽以上、2001年度50羽以上、2002年度25羽以上、2003年度は36羽以上、2004年度は32羽以上、2005年度は26羽以上、2006年度は18羽以上、2007年度13羽以上、2008年度7羽以上、2009年17羽以上、2010年9羽以上、2011年5羽以上、2012年3羽以上、2013年4羽以上、2014年3羽以上、2015年3羽以上、2016年4羽以上、2017年2羽以上、2018年0となった。

2014年度から調査地点として正式に加えた相模川以西地区については過去の参考調査のときから20羽前後で推移していたが、2015年15羽以上、2016年5羽以上、2017年21羽以上、2018年26羽以上と安定している。

### 3)タゲリの減少と保護について

2018年の調査では宮原地区の記録が途絶え相模川以东の記録はゼロとなった。過去の他の地点の状況から、数羽の記録がしばらく続き、最後にゼロとなると、その後復活することがない。宮原地区は大きな環境の改変はないため、渡ってくる群れそのものがとだえてしまったのではないかと推測する。繁殖地であるシベリアや中国東北部などの環境悪化にたいしては国際的な取り組みが必要となってくる。

平塚伊勢原地区は県内に残された最後の安定的な越冬地であり、この水田を残すために農業と経済と自然保護の両立を図ることがより重要になってくる。また記録の途絶えた相模川東部の水田地帯も渡り時期に立ち寄る記録があり、未来に水田を残していきたい。

都市近郊の水田は水生生物や野鳥など多くの生き物を育む場所であり、また人にとっても保水力による洪水の抑止や、ヒートアイランド現象の抑制や癒しなどの空間として役立つ機能を持つ。茅ヶ崎市で

は西久保の市街化調整区域の水田に遊水地としての助成金が出る仕組みができたが、同様の政策が他市町にも展開されることを望む。

かつてトキやコウノトリが日本中の水田に生息していたが、タゲリも同様に道を進まないように願いたい。タゲリは水田環境の指標となるためこれからも調査を継続していきたい。

## 参考文献

神奈川県レッドデータ生物調査団編, 1995. 鳥類. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書, 140-156.

神奈川県立生命の星・地球博物館, 2006. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006, 鳥類. 233-264.

茅ヶ崎市, 2006. 茅ヶ崎市自然環境評価調査概要報告「自然環境評価マップで茅ヶ崎の自然を見てみよう」, 36-38.

茅ヶ崎市, 2017. 第3回茅ヶ崎市自然環境評価調査概要報告「茅ヶ崎の自然を見てみよう 2017」, 29-33.

樋口公平・岸一弘, 2002. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2000年度)について. 文化資料館調査研究報告, (10):29-31.

樋口公平・岸一弘, 2003. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2001年度)について. 文化資料館調査研究報告, (11):17-19.

樋口公平・岸一弘, 2004. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市, 横浜市戸塚区におけるタゲリー斉調査(2002年度)について. 文化資料館調査研究報告, (12):25-27.

樋口公平・岸一弘, 2005. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2003年度)について. 文化資料館調査研究報告, (13):1-3.

樋口公平・岸一弘, 2006. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2004年度)について. 文化資料館調査研究報告, (14):1-3.

樋口公平・岸一弘, 2007. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2005年度)について. 文化資料館調査研究報告, (15):11-13.

樋口公平, 2008. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタ

ゲリー斉調査(2006年度)について. 文化資料館調査研究報告, (17):1-3.

樋口公平, 2009. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2007年度)について. 文化資料館調査研究報告, (18):1-3.

樋口公平, 2010. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2008年度)について. 文化資料館調査研究報告, (19):11-14.

樋口公平, 2011. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2009年度)について. 文化資料館調査研究報告, (20):69-72.

樋口公平, 平田稔 2012. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2010年度)について. 文化資料館調査研究報告, (21):57-60.

樋口公平, 平田稔 2013. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2011年度)について. 文化資料館調査研究報告, (22):13-16.

樋口公平, 平田稔 2014. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタゲリー斉調査(2012年度)について. 文化資料館調査研究報告, (23):1-16.

樋口公平, 平田稔 2016. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市, 伊勢原市, 平塚市におけるタゲリー斉調査(2013, 2014年度)について. 文化資料館調査研究報告, (25):23-27.

樋口公平, 平田稔 2018. 茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市, 伊勢原市, 平塚市におけるタゲリー斉調査(2015, 2016年度)について. 文化資料館調査研究報告, (27):15-19.

1) 三翠会・日本野鳥の会神奈川支部

2) 三翠会・日本野鳥の会神奈川支部